

豊島区シルバー人材センターは おかげさまで50周年を迎えます

Silver Toshima

いきがい! やりがい!!
はたらきがい!!!

2026年 5月号 Vol.508

スローガン チャレンジしよう my ライフ in シルバー

スローガン シルバーで 規律ある日々 医者いらず

スローガン 50年 仲間と共に これからも

スローガン シルバーで 地域貢献 生きがいに

安全就業標語 転ばない 運動栄養 健康管理

安全就業標語 慌てない 転ばぬ先に ゆとり持ち

安全就業標語 大丈夫と 思う心に 再確認

安全就業標語 ヘルメット 命を守る 必需品

安全就業標語 変わったよ 自転車ルール 事故防止

安全就業標語 まあいいか それが危険の 落とし穴



公益社団法人
豊島区シルバー人材センター

50周年式典
開催決定!

みんなでもりあがろう

10月17日(土)

帝京平成大学「沖永記念ホール」

豊島区シルバー人材センターは、令和8年10月に
設立50周年の節目を迎えます。
設立50周年に向けて、昨年度に50周年事業委員会を立ち上げ、
各事業の企画・検討を進めています。



1. 記念誌の発行

50周年記念誌『銀の大道』を発行します。
構成は、区長などからのメッセージ、センター設立から50年の歩み、就業現場の写真や、50周年記念事業、仕事以外の様々な活動、歴代役員、各種資料などを予定しています。

2. 式典の開催

令和8年10月17日(土)に帝京平成大学「沖永記念ホール」で記念式典の開催を決定しました。プログラムは二部構成を予定しており、第一部では式典を、第二部では会員の皆様が主役となる音楽やダンスなどの多彩なアトラクションを計画して進めています。

3. 記念事業

- ① 50周年記念「歩こう会」
- ② 未来への手紙
「10年後の自分へ届ける、私からのメッセージ」
- ③ 記念式典のチラシの発行と配布
- ④ 式典参加者に記念品進呈 など

「50周年事業の目的」

(50周年事業委員会設置要綱抜粋)

50周年事業委員会(以下「委員会」という。)は、公益社団法人豊島区シルバー人材センターの設立50周年を迎えるにあたり、これまでの歩みを振り返ると共に、今まで培ってきた経験と信頼を次世代へとつなげていく節目と位置づけ、会員が共通の目的意識を持ち、シルバー事業の発展と社会貢献に向けた新たな一歩を踏み出す機会と捉え50周年事業を推進する。



50周年事業委員会 会議の様子

会員紹介

編み物を本業としながらも
保育園での清掃作業も
楽しむ

としま編んでつなぐまちアート…
※モチーフ編みを公園に飾る
アートイベント。写真はその作品。



保育園清掃

近藤 浩子(こんどう ひろこ)さん(63才)

現在は編み物教室の講師として、生徒への技術指導をしています。あわせて企業主催のイベントでのワークショップ講師や、地域での支援活動にも注力しています。具体的には、特別養護老人ホーム「山吹の里」にて『編み物テラス～結(ゆい)～』を月2回、東池袋フレイル対策センターにて月1回、高齢者や軽度の要支援者の方々を対象とした編み物による支援を行なっております。

講師をしていて何より嬉しいのは、生徒から「一人では編めなかった作品が完成してよかった」「大作に挑戦して得られた達成感がすごい」と言ったお声をいただく瞬間です。

また、特別養護老人ホームやフレイル対策にいらっしゃる高齢者の方で「何十年も編み物をしたことがなかったので、できるか不安…」という方が、作業をし始めて段々と手先が動き出し、見事な作品を仕上げ驚くこともありました。

編み物は精神安定剤にもなると言われますし、手先を使うことで脳が活性化し、認知症予防にも効果があるのではと思います。

このお仕事で特に楽しかったのは、3ヶ月で世界一周をする豪華客船の「飛鳥II」の中で、編み物教室をしたことです。仕事ではありますが、世界一周の船旅を2回も経験出来たことはとても良い思い出です。ただコロナ騒動があってから、このお仕事がなくなってしまったのは残念でした。

もしかすると、イケ・サンパークでの「としま編んでつなぐまちアート」をご覧になられた方もいらっしゃるかもしれませんが、ワークショップを通じて編んだ色とりどりのモチーフが、公園の木々を彩るアートへと姿を変えていく……。編み物で街を元気にする楽しさは、私にとって貴重な体験でした。

シルバー人材センターへは、1年半ほど前に編み物教室の生徒から「シルバーで働くのが楽しい!」という話を聞いて入会しました。

現在は保育園で、週1回清掃の仕事をしています。園長先生や職員の皆さんが暖かく迎えてくださり、気持ちよくお仕事をしています。また、元気な園児からもパワーをもらっています。

保育園での清掃作業は適度に体を動かす仕事なので、日々の運動不足の解消にもつながっています。以前事務職をしていた時と比べ、今のお仕事は人と接する機会が多く楽しいです。

編み物のお話をされる近藤さんは、本当に生き生きとされていきました。誇りを持って活動されている方だと感じました。これからもご活躍を願っています!!

※モチーフ編み…かぎ針を使って、さまざまな形の小さな編み物(モチーフ)を作り、それを組み合わせて作品を作る編み方。

下/池袋駅北口のウイトピア上部のモニュメント。豊島区の依頼の仕事で、ロープを編んで制作。スゴイ! 大きな作品。



上/ご自身で着るセーターなどは、ほとんど手編みで作っています。このインタビューの日の御衣装も自作とのこと。

あん きよ や ばた がわ 暗渠の谷端川を歩く



かつての
小川をたどる散歩道

かつて千川の粟島神社の弁天池を水源とし、区内を蛇行しながら神田川まで注いでいた「谷端川」。現在はその全てが暗渠（※地下に埋設されたり、蓋をされたりした水路や排水溝のこと）となっています。今でも西武線以北は谷端川緑道となって、昔の川の跡を思わせてくれています。

明治の頃までこの川沿いには、雑木林や江戸の近郊野菜を作る畑が広がり、人々の生活の中に、また農業用水としても、のどかに流れていたことでしょう。

ただ元々水量は少なく、千川から分水を引き込んだりしており、下流の辺りは小石だらけということから、「小石川」という地名が付けられました。

関東大震災以降、震災復興と急激な人口

増加が進む中で、谷端川は生活排水による水質悪化や大雨時の氾濫が問題となりました。そのため昭和39年にはすべて暗渠化されました。

そんな昔の谷端川の姿を想像しながら、今回は粟島神社から小石川植物園までを歩いてみました。

コース中には公園も点在し、3時間ほどで歩きました（休憩時間は除く）。今回歩いたゴール地点には「小石川植物園」や「教育の森公園・占春園」もありますので、

散歩の後の余韻を楽しんではいかがでしょうか。

左／谷端川緑道散歩マップ

下／「滝不動」。小さく落ちる滝の所に不動明王が祀られていたと説明文がある。



スタート地点の「粟島神社」。小さな池が、かつての水源地を思わせる。



緑道の始まり。西武線の北側から、JR板橋駅まで続いている



今回のゴール地点の小石川植物園（入り口は南東角）。2月から5月初旬ごろまで、様々な桜が次々と咲くので、花見にハズレなし！

日テレ・東京ヴェルディベレーザ&シルバースターズ クリーン活動

3月12日(木)日テレ・東京ヴェルディベレーザのクリーンプロジェクトin池袋にシルバースターズ12名が参加させていただきました。

昨年、東京ヴェルディと豊島区とがスポーツを通じた連携協定を締結。東京ヴェルディが豊島区で初めてクリーンプロジェクトを開催することとなり、豊島区のクリーン活動の代表ともいえるシルバースターズにコラボのお声がかかりました。



最前列右から 高際区長、青木夕菜選手、隅田凜選手

当日は、高際区長、隅田凜選手・青木夕菜選手、サポーターの皆さんとサンシャイン通りを中心に清掃活動を行いました。隅田選手・青木選手に女子サッカーのお話を伺いながらの楽しい清掃活動になりました。

清掃活動が終わるころには、選手ともうち解け、次はスタジアムに応援に行く約束をするほど。選手にユニフォームとサインもいただきました。

シルバースターズは、これからもホーム豊島で清掃活動に力を入れていきます！



私とバレーボール

広報委員 小西 和子

バレーボールは1895年アメリカの体育教師ウィリアム・モーガンがバスケットボールに代わる「全世代が楽しめる安全な室内競技」として考案したのが始まりです。

私がバレーボールを始めたきっかけは、子どもが小学校に入学して、PTAバレーボールチームの人数が足りないと言われ、丁度運動をしたいと思っていたので始めたのが、ママさんバレーの第一歩です。毎週土曜日の練習、腕には青タン、指は突き指と痛い思いをしてきましたが、少しずつ上達してくると楽しくなり、友達も増え、小学校対抗試合に出場し、子どもが中学生になっても続け、子どもの中学校卒業と同時にママさんクラブに入りました。クラブチームでは、コーチからの指導で練習と試合、試合の勝ち

負けに関係なく先輩方との飲み会、週に何回も練習試合がありました。今も、膝に痛み、指に痛み、満身創痍で接骨医に通いながら続けています。

バレーを始めて40年近くなりますが、勝ち負けの1点を追いかけています。いつまでプレーできるかわかりませんが、身体が動くうちは続けていこうと思っています。私より10歳以上年上の先輩方も元気で頑張っていますので!!



理事会 報告

● 2 月度

- (1) 新入会員の承認(退会) 入会者数 30 名
- (2) 令和 8 年度事業計画及び収支予算

● 3 月度

- (1) 新入会員の承認(退会) 入会者数 23 名
- (2) 令和 8 年度事業計画及び収支予算
- (3) 第 16 回定時総会について



委員会 報告

● **安全管理委員会** 2月19日(木)
議題：令和 8 年度熱中症対策等

● **ミモザ委員会** 2月20日(金)
議題：女性セミナー等

● **事業委員会** 3月17日(火)
議題：未就業調査報告実施等

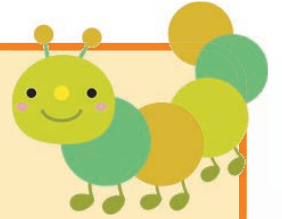
● **企画総務委員会** 3月18日(水)
議題：50 周年記念事業等

● **広報委員会** 3月24日(火)
議題：会報 5 月号等

● **50 周年事業委員会** 3月25日(水)
議題：記念式典について等



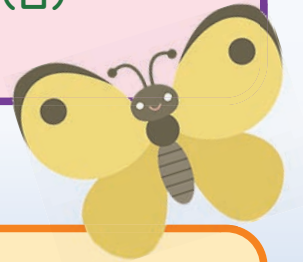
地域班 活動報告



- **地域班長会**
- **自転車交通違反に関する講演**
地域班 4 班
- **神田明神散策**
地域班 6 班
- **NPO法人SUPLIFE協同 大塚駅周辺清掃**
地域班 6 班
- **「としま案内人ガイド付き」皇居散策**
地域班 1・2 班合同

出展 イベント

- **6月6日(土)・7日(日)**
すがも商人祭り(予定)



編集 後記

今年度よりSilver Toshimaは奇数月の発行になりました。配分金支給日は Smile to Smile か、センターHPをご覧ください。

今年50周年記念行事の日程と場所が決まりました！なるべく多くの方のご参加をお待ちしていますので、スケジュールの調整などをできる限りお願いいたします。会員全員で盛り上げていきましょう！

Silver Toshima 編集員 峰岸浩子

豊島区シルバー人材センター事務局

TEL : 03-3982-9533

(各種お問い合わせ・申し込みは、こちらの電話番号まで)



FAX : 03-3982-9532

mail:toshimaku@sjc.ne.jp

会員数 1,771 名 (2026.3.31 現在)

男性 : 1,007 名 女性 : 764 名

会報 Silver Toshima 2026 年 5 月号
編集発行 公益社団法人 豊島区シルバー人材センター
〒170-0013 豊島区東池袋 2-55-6